

スマートシティの財政面からの持続性確保分科会（概要）

分科会提案者：有限責任監査法人トーマツ

分科会の目的	スマートシティの財政面での持続性を確保する観点から、民間事業者のマネタイズモデルをはじめ各種の方策について現状の整理、解決方向の提示を行うことで、各民間事業者の適切な事業拡大を支援する。日本のスマートシティのビジネスエコシステムを確立させ、Society5.0の実現に貢献する。
解決したい課題	・スマートシティにおける官民の役割分担に関する理論的フレームワークが不足している ・スマートシティに適切な投資をもたらすための金融の仕組みが不足している ・スマートシティ化の社会的価値や経済的価値を適切に評価する仕組みが不足している

分科会での活動内容及び期待される成果
<p>■ 分科会での活動内容</p> <p><u>活動1：分科会メンバー(企業・自治体)の現状認識調査「アンケート調査/インタビュー/意見交換会」の実施</u> (1)事業主体としてのコンソーシアム(民間・官民)の現状と課題 (2)公共セクターの役割の現状と課題</p> <p><u>活動2：財政的持続性の確保方策整理と課題解決法の検討</u> 財政的持続性の確保方策の整理と課題解決の方向性に関する勉強会の開催、参加者フィードバックのとりまとめ</p> <p>■ 期待される成果</p> <p>日本のスマートシティにおける財政的持続性の確保方策に関する課題と解決の方向性(提言)</p>

対象分野	<input type="checkbox"/> 交通・モビリティ <input type="checkbox"/> エネルギー <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> インフラ維持管理 <input type="checkbox"/> 観光・地域活性化 <input type="checkbox"/> 健康・医療 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 農林水産業 <input type="checkbox"/> 都市計画・整備 <input type="checkbox"/> 物流 <input type="checkbox"/> セキュリティ・見守り ■ その他（各種領域共通）
令和1～2年度は、議論の前提やフレームワークを整理し、令和3～4年度は個別具体的な社会実装モデルを討議する。	

今年度の「スマートシティの財政面からの持続性確保」 分科会の活動予定

2021.3

今年度の活動	活動のメインテーマ	個別具体的なプロジェクトの類型における社会実装モデルを検討する。
	解決したい課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティにおける官民の役割分担に関する理論的フレームワークが不足している ・スマートシティに適切な投資をもたらすための金融の仕組みが不足している ・スマートシティ化の社会的価値や経済的価値を適切に評価する仕組みが不足している

分科会での活動内容 及び 期待される成果

■ 分科会での活動内容(令和3年度)

スマートシティの社会実装モデル(財政的に持続可能なあり方) やその実現に向けた解決策を、スマートシティプロジェクトの類型ごとに検討・整理する。具体的には、

- ① 事務局による仮説提案
- ② 各プロジェクト担当者へのインタビューをふまえた補足
- ③ 分科会全体での意見交換を通じた精緻化を行う

■ 期待される成果

日本のスマートシティにおける財政的持続性の確保方策に関する課題整理と解決に向けた提言

実施スケジュール

Milestone	2021年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
インタビュー	▶			
意見交換会		◆	◆	
報告書まとめ				▶

連絡窓口

有限責任監査法人トーマツ リスクアドバイザー事業本部パブリックセクター
米森 080-3412-4128

kenta.yonemori@tohmatu.co.jp

デロイトトーマツコンサルティング合同会社 パブリックセクター
廣瀬 080-4367-6857

shiro.hirose@tohmatu.co.jp